「みちびきを利用した実証事業」公募提案書

提出書類　１

|  |  |
| --- | --- |
| 提案企業・団体名 |  |
| 代表者氏名（ふりがな） |  |
| 部署名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

**※必要に応じてパワーポイント形式の資料（A4サイズ　10枚以下）を添付することも可能です。ただし、その場合はパワーポイント資料のどのページが以下の項目に該当するか明記してください。**

|  |
| --- |
| （１）実証事業名 |
|  |
| （２）活用するみちびきのサービスの種類 |
| 活用するみちびきのサービスを全てチェックしてください。  □Ⅰ.サブメータ級測位補強サービス　(SLAS)  □Ⅱ.センチメータ級測位補強サービス（CLAS）  □Ⅲ.災害・危機管理通報サービス  □Ⅳ.衛星安否確認サービス  □Ⅴ.みちびきからの時刻情報 |
| （３）提案の背景・目的、現状の課題 |
| **（提案に至った背景及び目的、また認識している課題について記載して下さい。）** |
| （４）提案内容 |
| **（みちびきのサービスをどのように使って課題を解決するか、システムの構成および各要素との相関関係、動作・原理・運用方法など、提案の内容について記載して下さい。）** |
| （５）提案の新規性・先進性及び優位性 |
| **（提案手法について、新規性・先進性がある場合はその特徴について記載して下さい。あるいは既存もしくは他社による同種・類似のサービス・製品がある場合は、提案手法の優位性について記載して下さい。）** |
| （６）実証実験概要 |
| **（実証事業内において、実際に実証実験を行う際の実施規模、実施場所、参加予定者、実施方法、メディアへのアピール方法などを記載して下さい。なおメディア公開ができない場合はその理由を記載して下さい）** |
| （７）実証事業のスケジュール |
| **（実証事業全体のスケジュールについて記載して下さい）** |
| （８）事業化の実現性について |
| **（事業化した場合に、十分な収益が得られるか、収益の得られる市場規模など、事業として成立するかについて記載してください。また現状、法律、規制等による事業化に際して制限事項の有無について記載して下さい）**  **※ビジネスモデルの可視化のため、別添様式「ビジネスモデルキャンバス」に必要事項を記載してください。** |
| （９）実証事業後の展開について |
| **（本実証事業の終了後、どのように事業を推進していくかの計画について記載して下さい。また市場投入の計画時期と投入後5年後までの売り上げ目標について記載して下さい。）** |
| （１０）将来性・経済波及効果について |
| **（本提案が事業化されることにより、一般市民の生活の質向上や社会システムの変革・発展につながるのであれば、その寄与する内容・規模について記載して下さい。また、参入しようとしている市場規模や横展開の可能性についても記載してください。）** |
| （１１）使用するみちびき対応受信機 |
| **（使用するみちびき対応受信機のメーカー名、製品名、みちびきのサービスを全て記載して下さい。）**  **（例）三菱電機製　AQLOC　センチメータ級測位補強サービス使用**  **日本電気製 QZ1 サブメータ級測位補強サービス使用** |
| （１２）実施体制 |
| **（複数の企業や団体で実証事業を実施する場合は実施体制及び役割を記載して下さい。）**  **（例）**  **○○株式会社**  例：Ａシステムの開発　等  **□□大学**  例：Ｂ機器の調整　等  **△△株式会社**  例：データ解析　等  **××研究所** |
| （１３）アピールポイント及び特記事項 |
| **（本実証事業でアピールしたい事項がありましたら記載して下さい。その他、特筆すべき事項があれば記載して下さい。）** |
| （その他）みちびきコミュニティのMeet UP活動への参加希望 |
| **（みちびきコミュニティのMeet UP活動への参加希望の有無について、以下に☑を入れて下さい。）**  ※当該項目は、本公募の審査に影響しません。  □　希望する  □　希望しない |